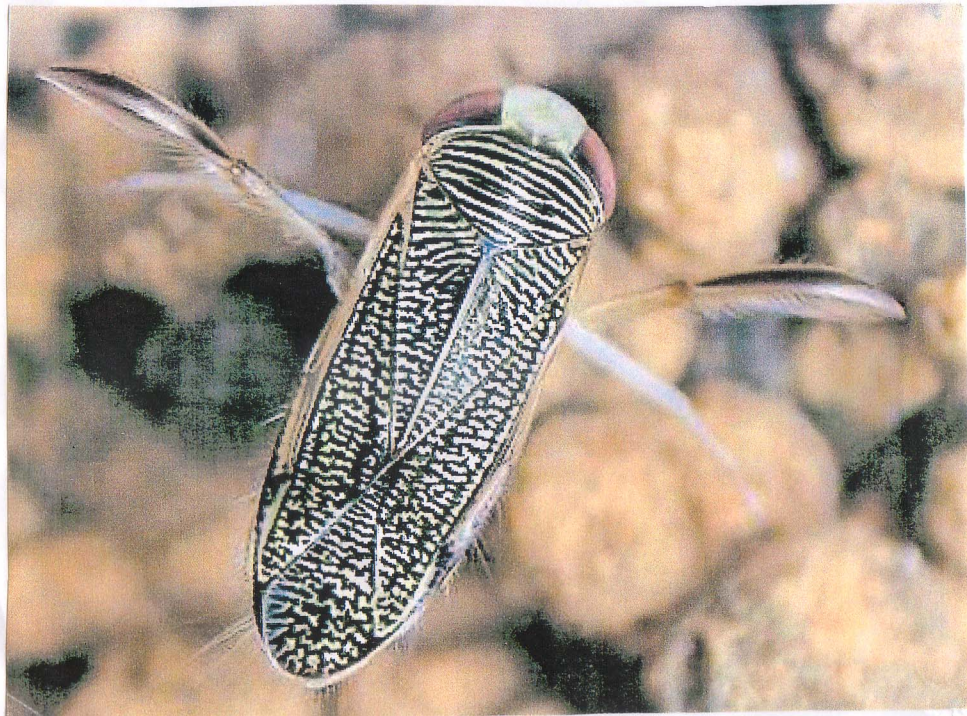


# ふうせんむしあそび 風船虫遊び

自然が豊かな昔に、全国の子どもに広まった遊び



わたしは  
コミズムシ  
です



コミズムシは田んぼの水底にいる水生昆虫です。ときどき水面上がってきて羽根と背中の中に空気をためて、それで呼吸しています。アメンボなどちがって水の中の藻を食べています。昔は、夏の夜に家の明かりめがけて飛んできたものです。全国に伝わっている風船虫遊びは、電燈の真下のちゃぶ台に置かれたコップにコミズムシが落ちて、泳ぎ始めたことから始まったことなのでしょう。誰がコップに小さな色紙を入れて、あの華やかなショウを思いついたのでしょうか。春から夏にかけて、オスは足を頭にこすりつけて「チッチッチ」と鳴くそうです。田んぼの脇に腹ばいになって耳を澄ましてみましょう。

わたしは体長6ミリのちっちゃな昆虫なんです。上川口小学校のうらの田んぼで泳いでいます。友達になってください。

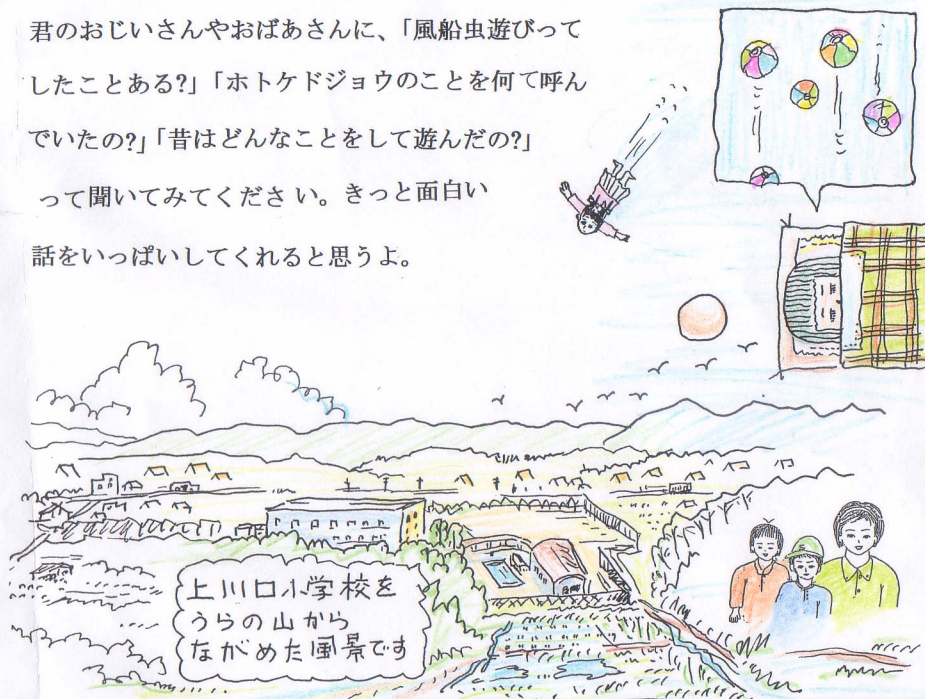
めだかの学校「池の生き物観察会」

2007年6月10日(日曜日)

上川口小学校 PTA

青少年対策川口地区委員会

君のおじいさんやおばあさんに、「風船虫遊びってしたことある?」「ホトケドジョウのことを何て呼んでいたの?」「昔はどんなことをして遊んだの?」って聞いてみてください。きっと面白い話をいっぱいしてくれると思うよ。



学校のまわりの田んぼや林には、昆虫やカエルや魚がいっぱいすんでいます。もっとよく見てみよう。どの生き物も美しくて不思議な生き物ばかりだよ。自分の目で発見するって楽しいことだね。

